

次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長挨拶
- 4 検討会議
 - (1) 委員長の選任
 - (2) 検討項目
 - ア 整備の基本方針の確認及び検討
 - イ 施設の概念（位置付け）
 - ウ 施設に必要な機能及び必要な事業
 - (3) 連絡事項
 - 次回会議の日程について
 - その他

会議の概要

*（仮称）柿田川ビジターセンターについて本文中では「VC」と表記する。

○事務局から、VCの概要等について説明

- ・今回の事業は町の課題の解決策としての実施
- ・他の整備事業等の紹介
- ・国指定天然記念物、名水百選等の十分に魅力を伝える施設が不足
- ・町民への環境教育等の醸成（柿田川を題材に）
- ・世界的な事業が様々予定されている中で柿田川を発信することの重要性、好機
- ・柿田川を紹介するための施設（資料館、ビジターセンター、ガイダンスセンター）
- ・柿田川の見せ方、情報発信の手法についての検討
- ・ハード、ソフト事業についても検討をお願いしたい。
- ・資料により整備概要を説明
 - ⇒施設の概念を説明
 - ⇒基本は学びと交流

⇒これを核として派生する

⇒施設をとおして魅力を発信する。

⇒人口減少社会の緩和も施設の役割の一つ

- ・ワークショップ等が出された意見の紹介

⇒柿田川の歴史、最近の住民の取組み

⇒VRでのキャニオニングによる学習

⇒SOHO関係、外来種駆除用のシャワールーム

⇒学習、活動の拠点整備

- ・整備箇所の概要案説明

⇒駐車場の再整備を行う。

⇒建物は現駐車場の北側方面として検討

⇒建物の規模は1,000㎡以内として検討する。

⇒洞の活用を検討する。

- ・整備スケジュールの説明

⇒委員会は4回程度開催

⇒H29年度：構想策定、H30年度：基本実施設計、H31年度以降：建築・土木工事、
H32年度末完成

○次第4 検討会議

(1) 委員長の選任

- ・委員の互選より選出する規定であるが、委員会から事務局一任との声があり、事務局から「副町長」を指名し承認を受けた。

- ・委員長が欠けたとき・・・との規定により、委員長が委員を指名した。

(2) 検討項目

- ・整備の基本方針等・・・について委員の意見を聴取

委員

①施設の概念に学びと交流を

②歴史、保全の関わりに空間的な広がり

- ・柿田川が狩野川や駿河湾を浄化している。

③整備予定場所に埋められていると思われるヘドロの処理等

④水の駅構想との関わり（A3資料10ページ）

⑤宮西氏のミュージアムとは？

事務局

- ①保護の観点を入れる方向で検討
- ②展示の中での検討項目として考える
- ③工事の際には必要な調査（ボウリング）を実施
- ④今回事業の上位計画ではない。過去の水の駅構想のうちの一部を実施するわけではない。
今回は資料で示した箇所（柿田川公園駐車場周辺）のみが今回の検討項目。当時の計画と直結するわけではない。当時提案されたVCの考え方を下の図に示している。
- ⑤当初にはそのような話もあったが、現在は、キッズスペースの一部にゆうすいくんの紹介コーナーを設ける程度で検討している。ゆうすいくんは柿田川生まれで柿田川を守っている。

委員

- ①交流客の目線で柿田川を見た。三島駅から柿田川まで歩くと。
 - ・柿田川はフラッグシップとなっている。
 - ・富士山、周辺湧水群などの水のネットワークを表現
 - ・柿田川だけではない水のネットワーク
 - ・三島が有名になっているので柿田川まで足を運んでいただける発信

事務局

- ①柿田川、湧水を基本として差別化を図りたい。
 - ・柿田川湧水の力強さを表現したい。
 - ・他地域との連携については、観光協会が三島、沼津、長泉と協力していく方向で話しをしている。
 - ・ウォーキングでも広域的な連携がある。

委員

- ①管路ウォークがある。三島の浄水場から企業局まで
 - ・三島駅から柿田川だけでなく、熱海、浄水場との広がり表現を

事務局

- ①観光客の動向も広域であるため、広域的なつながりを表現したい。

委員

- ①リピーターの確保

事務局

- ①ソフト的な事業や年代的な体験について工夫したい。

委員

- ①小学生年代からの教育
- ②紹介するVCのみに留まらず、自分の暮らしに関わる教育・体験

- ③柿田川は水がキーとなる。生物として欠かせない水を体験プログラムでの関わりの体験（ガイドウォーク）
- ④来訪者が求めるのは施設だけでなく、「人」⇒ガイド養成が重要
- ⑤展示は文字の羅列にならないように・・・体験型が重要
- ⑥宮西氏は町の宝。絵本の紹介だけではなく、宮西氏に空間的広がり表現してもらうなどの工夫は

委員

- ①三島出身、長泉在住。清水町になじみはあるが密着感はない。三島市民が柿田川に関心は薄い。ウォーキングで三島から柿田川への案内はあるかと思う。
- ②スカイウォークでは柿田川を近隣の観光地として沼津港と併せて紹介。宿泊では伊豆方面の紹介がある。観光との観点では、広域的な連携が必要

委員

- ①柿田川は深すぎる（低い）ため、農業用水としての利用がなかった。ので、現状のままに残ったのでは。
 - ・柿田川は町のアイデンティティとなっている。「知床」「有馬」でイメージが膨らむ。「柿田川」もそれと同様に全国的に発信し、子供が成長したときに誇りに思うような紹介ができるように。
- ②広域的なつながりを大切に。いろいろな場所をめぐるときに印象に残る場所に・・・住んでいる人が共感できる場所施設になることを望む。

委員

- ①広域的な視点が欠けないように検討をお願いしたい。観光客等に行政範囲は関係ない
- ②渋滞についてどうにかなるか

事務局

- ①柿田川公園の来場等の調査の実施をしている。
 - ・駐車場渋滞は午後2時頃に発生しているため、今回整備で駐車場の増加、町道の付け替え等で更なる渋滞の発生を抑制したい。

委員

- ①現況の来場の把握を今までしてないのか？

事務局

- ①駐車場の台数は把握しているが詳細の調査を実施していかった。
 - ・来場者は駐車台数から想定すると40万から45万程度かと推定

委員

- ①施設に対してだれに来てほしいのか決めたほうがよい。誰でも来てほしい・・・にする

と、どっちつかずの施設になる。ターゲットを決めて構想を

・さらに、誰にどんな体験を・・・と決めることを早めに

委員

①多岐にわたる構想・・・だれが、どんな使い方等を最初に決める

・観光？町民？・・・により展示の手法が決まる。

・どっちつかずの施設にならないように早期に方向性を示す必要が有る。

・ウェイトの置き方

・交流、保護、教育・・・取捨選択を

委員長

①7ページはワーキングの意見の羅列。この委員会で検討をお願いする内容でよいのか。

事務局

①7ページはワーキング提案の羅列。皆様からいろいろな意見をいただきたい。新たな意見や、記載内容についての意見をいただきたい。

委員

①だれに・・・3つの提案

・小学生の自由研究（夏休み）

・修学旅行（小中高 受け入れ規模）

・教材園の活用（開放）方法（教材園への案内前の学習の場）

委員

①教材園の説明（水へのアプローチ）

②水を感じる。冷たさ、力を肌で感じる。水大事、川大事が学習

③子供たちが実感できる。自慢できる。

④教材園とのネットワーク

⑤水を感じる・・・をVCの柱に

委員長

①今は、他の学校の子供たちが入る機会は少ない。

②町民などに開放を行っている。ガイドツアーなどソフト事業で活用したいと考えている。

委員

①教材園は水に触れられる環境にある。

②教職員でも柿田川を詳しく説明できない。

③小中学生の柿田川学習の拠点に

④今の町の子供たちにとっては身近な川だけどよくわからない

⑤水がおいしい

委員

- ①水の販売はしているか
- ②天然記念物が飲める・・・は、おもしろい

委員長

- ①水利権の問題でできない。

委員

- ①案内したときに感動する場所は、狩野川との合流点、教材園、湧き間、水道部の取水場所に感動する。一番は水道部の取水場所である。

委員

- ①修学旅行等の受け入れを検討するなら、雨天時等の対応ができる施設等の検討を

委員長

- ①1,000 m²のイメージ（1,000 m²以内）のために、公共施設を見学してはどうか

委員

- ①伊豆縦貫道の影響について

事務局

- ①調査結果の報告
 - ・一般車両、バス等は午後2時3時頃が多いので、帰りの立ち寄り、トイレ休憩等ではなかろうかと推定
 - ・縦貫道の影響については、駐車場を有料にした23年度以降の状況を報告し、開通の年（H26）は減少しているが、最近増加傾向になった。

委員長

- ①国土交通省の調査によると国道1号の車両が3割減少しているとの調査結果であった。縦貫道の成果として3割の渋滞減少であると・・・

委員

- ①SOHOの説明があったが、資料的にはどこにもないがどのような話か？

事務局

- ①ワークショップでの意見や策定した水ビジョンの中で検討されている。柿田川の場所での創業企業のすばらしさ場所の有利さでどうかと考えている。ただし、交付金の関係で、同時建設は難しいとのことですので、手法等について継続した検討をしたい。

委員

- ①施設の利益について
 - ・利益を追求する必要があるのか？

委員長

- ①維持費程度の回収は必要かと考えている。施設そのものの建設費を賄うまでは考えていない。
- ②料金をどのようにするかは今後検討が必要であると考える。

事務局

- ①様々な提案をいただきたい。ハードのみならずソフトの提案もいただきたい。

委員

- ①カフェ、個展の場、マルシェ・・・地元の方が行きたくなるような環境。水をテーマとした水耕栽培品、ホテルの鑑賞・・・

委員

- ①年間維持費が数千万円程度と考えるという、議会答弁があったかと思うが・・・

委員長

- ①前提条件として、当初の計画規模（2,600㎡）で、同等規模の交流センターの維持管理費を参考として考えた場合2,000万円程度（人件費除く。）と答弁をした。
- ②経費のかからないような運営手法を検討したい。
- ③入館料も安く設定し皆様に利用してもらいたい。

委員

- ①田貫湖は入館無料ソフト有料で実施
- ②自主財源の確保のためのソフト事業の充実が重要

終了